

様式

技術名称	アミノ酸を含有した環境共生型コンクリート「環境活性コンクリート」	技術の分類	材料	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	無 (平成22年度内に申請予定)
会社名等	日建工学株式会社	担当者	環境共生調査室・西村	連絡先	03-3344-6081
技術の概要	沿岸域生態系の問題のひとつには、藻場・浅場などの浅場生態系を特徴付ける底生微細藻類を起点とする食物連鎖の劣化が挙げられる。近年では港湾内においても環境共生型事業が行われるようになったが、底生微細藻類に着目した事例は製鋼スラグを用いた材料がある程度で数少ない。しかし、天然由来であるアミノ酸をコンクリート混練時に添加するだけの本材料を用いることにより、底生微細藻類の生長が促進され、海域環境(基礎生産能)の活性化が期待できる。	添付資料	パンフの有無	有	
			その他の資料	無	
技術の特徴	<p>施工性:コンクリート練り混ぜ時にアミノ酸を添加させるだけであるため、容易。</p> <p>品質:普通コンクリートほぼ同等の強度発現性を有している。</p> <p>安全性:さとうきびなどの天然素材を発酵させて生成されるアミノ酸は、たんぱく質を構成する成分であり、食品や医薬品としても使用されており、人間の体内でも合成されている。添加するアミノ酸は純度ほぼ100%であり、生成過程の副産物や産業廃棄物ではない。</p> <p>藻類生長効果:室内実験において、普通コンクリートに比べ約10倍の藻類生長速度が確認されている。</p>	その他	研究途中であるため、経済性(材料コスト)など検討中の項目が多い。		

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。